

令和2年度外来種対策事業
(昆虫類・クモ類・植物対策)

報 告 書

令和3年3月

沖縄県環境部自然保護課

－ 目 次 －

1. 事業概要	1
1-1. 事業目的	1
1-2. 事業期間	1
1-3. 実施地域	1
1-4. 発注者	1
1-5. 請負者	1
1-6. 事業内容	1
2. ヒアリ等のモニタリング	2
2-1. 目的	2
2-2. 調査方法及び調査場所等	2
2-3. 調査結果	9
3. GC-MSによるヒアリ検出	15
3-1. GC-MSによるヒアリの毒性物質の検出	15
3-2. ヒアリの毒性物質と他のアリ類の抽出液との反応	15
3-3. 主要港湾等におけるモニタリング調査で採集したアリ類の分析	17
4. 関係者向け同定研修	29
4-1. 開催状況	29

1. 事業概要

1-1. 事業目的

沖縄県では、沖縄 21 世紀ビジョンにおいて、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」を目標の 1 つとしており、多くの固有種や希少種が生息する、生物多様性に富んだ自然環境が守られていることが将来の姿として記載されている。しかしながら、県内においては、既に様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、令和元年度にかけて、沖縄県外来種対策指針、沖縄県対策外来種リスト及び沖縄県外来種対策行動計画を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備を図った。

本業務は、沖縄県の生態系を保全するため、沖縄県外来種対策指針や沖縄県外来種対策行動計画等に基づき、外来種である昆虫類・クモ類・植物への対策を実施したものである。

1-2. 事業期間

令和 2 年 4 月 10 日～令和 3 年 3 月 31 日

1-3. 実施地域

業務実施地域は、沖縄県内であり、沖縄島、石垣島、宮古島で実施した。

1-4. 発注者

沖縄県 環境部 自然保護課

1-5. 請負者

一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 比嘉 悟

1-6. 事業内容

本事業の概要を下表に示す。

項目	概要
ヒアリ等のモニタリング	県内の港湾や空港の周辺を中心として、誘引剤トラップによるヒアリのモニタリング調査を 1 回あたり 5,000 地点以上、年 2 回実施した。また、調査を補完するために、掃除機を用いた採集を実施した（吸引法）。
関係者向け同定研修会	県内 3 か所において、関係機関等の職員を対象としてヒアリの同定研修会を開催した。